

「おいしい給食に出会うまで」 教育委員会事務局の取組み その1

右の図は、大東市の小学校で給食ができるまでのイメージ図です。

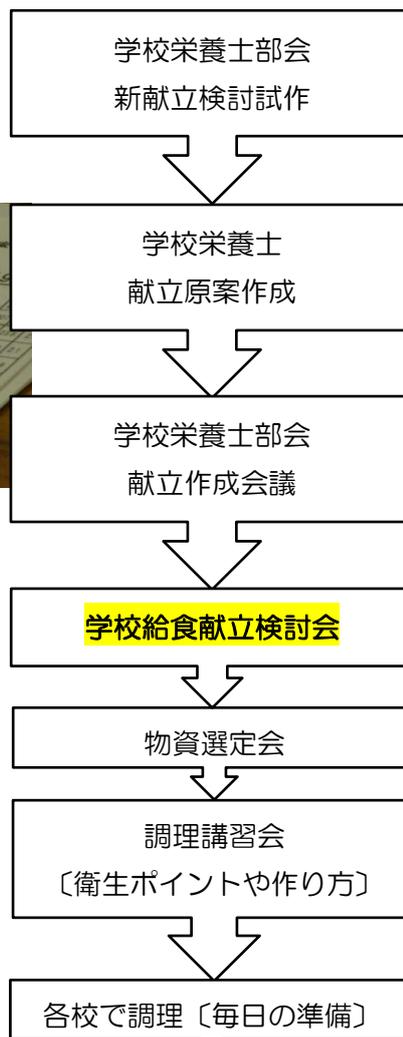
下の写真は、「学校給食献立検討会」の会議の様子です。参加者は小学校給食指導担当者・栄養士・学校給食職務推進委員・教育委員会事務局の給食グループ担当者・指導グループ担当者です。

この会議は年間5回開催され、毎日子どもたちが楽しみにしている給食の一膳一膳について、栄養バランスや詳細なカロリー計算・塩分計算、そして学校の先生たちの意見等を基に話し合いが行われます。例えば、4月5月の献立は2月に決定され、栄養バランス以外にも、郷土食や行事食を取り入れたりと、本当に様々な視点から毎日の給食メニューが考えられています。

また、各校から給食指導担当者や栄養教諭・学校栄養士さんが集まる「給食指導担当者部会」で研修や提案授業が行われたり、先生たちもたくさん勉強しています。

毎日当たり前のように配膳される給食一膳一膳には、実は多くの人の関わりと多くの人の思いが盛り込まれています。子どもたちにはぜひ、一つ一つの食材を味わって食べてほしいと思います。

平成25年9月からは中学校給食も始まります。小中学校には食育推進担当者が位置づけられています。給食や様々な取組みの中で食育を推進するために、これまで以上に食育推進担当者の役割も大きくなります。



献立について熱い話し合いが行われています！

学校給食献立検討会



いただきま〜す！しっかり食べよう！



大東市食育推進キャラクター トマッピーです